

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 12 No.13 2010年7月15日号

編集:[editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告:[pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2010 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### ラドビジョンジャパン、HDビデオ会議専用端末機とスマートフォン対応の無償アプリを発表

ラドビジョンジャパン株式会社(東京都台東区)は、フルHDビデオ会議専用端末機「SCOPIA XT 1000 シリーズ」と、スマートフォンでビデオ会議を制御できる無償アプリ「SCOPIA Mobile」を発表した。(6月24日)



#### SCOPIA XT 1000 シリーズ(ラドビジョン資料)

SCOPIA XT 1000 シリーズは、映像符号化方式にH.264/SVC、また解像度は、1080p30fps、720p60fpsに対応している。一方音声については、最新のフルバンド 48kHz 音声符号化方式に対応している。

データ共有(H.239)では、1080p30fps デュアル映像チャンネルに加え、WUXGA 解像度(1920x1200/30fps)をサポート。プレゼンテーションや CAD データ以外にも、ビデオクリップなどの共有もスムーズにできる。WUXGA 解像度対応は業

界初という。

カメラについては、光学 10 倍ズームを搭載したハイエンドPTZ 高感度カメラを搭載。カメラは、広角対応で、明るさが十分でなくても精細な画像を捉えるとともに、会議室内にいる全員をカバー可能。

マイクについては、集音範囲を広げるカスケードができる 3-way マイクポッドを提供。この 3-way マイクポッドは、ビームフォーミング技術によって、発言者のみに集中し、周りのノイズを拾うことなく集音することができるという。

オプションについては、最大 9 拠点まで対応したフルHD対応の内蔵 MCU と、デスクトップ PC からの接続を可能にする「XT 1000 デスクトップオプション」を提供している。「この最大 9 拠点对応の内蔵 MCU は、業界最大の収容能力だ。」(ラドビジョンジャパン)

代理店各社より販売され、今後 3 年間で 100 億円の売上を予定している。

一方で、SCOPIA Mobile は、AppleStore などから無料アプリをダウンロードするだけで、「iPhone」、「iPod Touch」、「iPad」あるいは、「Blackberry」などのスマートフォンからビデオ会議の開始や停止、ユーザのマイクやカメラの制御が行えるアプリ。また現時点では、音声のみ会議に参加できるが、今年中には、ビデオ会議も可能となる予定という。

今回の発表により、多地点接続装置である「SCOPIA Elite」、ビデオ会議システムを運用管理する「SCOPIA iView Suite」、オールインワン型会議端末「SCOPIA VC240」、PC でビデオ会議を可能にする「SCOPIA デスクトップ」で構成されるトータルソリューションが拡大強化されるとともに、また中小企業向けに最適な機能と価格によるターンキーソリューションが提供可能になったと同社では説明する。

## ラドビジョンジャパン、中堅企業向けに必要な機能をパッケージしたビデオ会議ターンキーソリューションを発表

ラドビジョンジャパン株式会社(東京都台東区)は、中堅企業(SMB)を中心としたユーザに最適なビデオ会議ソリューション「SCOPIA XT 1000 SMB ソリューション」を発表した。(6月24日)

SCOPIA SMB ソリューションは、SCOPIA XT 1000 に内蔵MCU とデスクトップクライアント、そしてファイアーウォールトラバーサルを組み合わせ、導入や管理に特別なスキルを必要としないターンキーソリューション。

特長は以下の通り。(1)2画面 1080p ビデオ、フルバンドオーディオと解像度のデータ共有。(2)ルームシステムと同等のHDビデオとデータ共有がPCとMacで可能。(3)デスクトップクライアントへの配布ライセンスについては、登録ユーザを限定することなく無制限にPCやMacにライセンス導入が可能。同時接続数のみで制限を設ける。(4)自動ファイアーウォールトラバーサル対応。

## ディアイティ、100万円以下で実現するフルハイビジョンテレビ会議システムを発売

株式会社ディアイティ(東京都江東区)は、テレビ会議システム「DayConnect PRO シリーズ」の新機種を発表した。(6月16日)

新機種は、フルハイビジョンに対応した「DayConnect PRO HD」と、SDに対応した「DayConnect PRO SD」の2機種。

特長は、以下の通り。(1)一般に企業は家庭で利用されている民生用のフルハイビジョン対応のビデオカメラとデジタルテレビを映像入出力機器として利用できるように設計されている。これにより、導入コストの削減が可能という。

(2)フルハイビジョンまでの画質を必要としない利用を想定して、利用場面に応じた、HDもしくはSDの機種選択が行えるとともに、相互接続も可能。

医療現場や学術会議、分散した大学や研究所間での合同会議、講義の共有、多拠点を結ぶイベントなどでは鮮明

な画像が必要とされる。

そういった中で、DayConnect PRO HD は、フルハイビジョン対応でありながらも、従来の導入のネックとなっていた高価な専用カメラや多地点接続装置を必要としないため、今までのフルハイビジョン対応テレビ会議システムでは実現できなかった様々な用途での導入を低コストで導入できるようになるという。

販売開始は、7月1日より。価格は、DayConnect PRO HDも、DayConnect PRO SDも498,000円(税別)となっている。病院、大学、大手予備校、会議施設、一般企業、官庁等に販売していく考えだ。

関連記事:DayConnect PRO 発売: Vol.11 No.12 2009年6月30日号

## キヤノンソフト情報システムのWeb会議、仮想環境などに対応した新しいバージョンを発売

キヤノンソフト情報システム株式会社(大阪府中央区)は、Web会議システム「IC3(アイシーキューブ)」バージョン7.06の販売を開始した。(6月17日)

今回のバージョンアップの主な内容は、以下の通り。(1)IC3 サーバの仮想環境での動作確認。仮想化システムとしては、「VMware ESXi v4.0」(ヴィエムウェア株式会社製)と、「Hyper-V 2.0 Windows Server 2008 R2 Datacenter Edition」(マイクロソフト株式会社製)に対応。一方ゲストOSとしては、「RedHat Enterprise Linux 5」(レッドハット株式会社製)、「Windows Server 2008 R2 Datacenter Edition」(マイクロソフト株式会社製)、「Windows Server 2008 Standard Edition SP2」(マイクロソフト株式会社製)に対応する。

(2)クライアント環境のWindows 7対応。サポートするエディションは、Ultimate、Enterprise、Professional、Home Premium。32ビットCPU。日本語、英語。

(3)帯域制御機能。最大帯域を基準とし、参加者人数等に応じて音声、映像などの品質を自動的に変更する機

能。映像と音声に途切れができてにくい会議環境を実現するためのもの。この機能の設定は、サーバ上の設定ファイルで可能。

(4)DB分離。IC3 サーバ、PostgreSQL、ユーザー一括登録ツールを異なる PC 上で動作させたり、また、ログをファイル共有サービス(Windows)、NFS(Linux)上に出力させたりすることも可能となった。

(5)チャットローカル保存。チャットウィンドウに「保存」ボタンを追加。保存ボタンを選択すると、保存ダイアログが表示され、指定したファイル名でチャット内容を保存することが可能。この機能の設定は、サーバ上の設定ファイルで可能。

(6)グループ単位でのゲスト招待機能設定。グループ登録・更新時にゲスト招待機能の利用可否を設定することが可能。

IC3 製品価格は、95 万円から(税別)。窓口は、同社パッケージ事業部。

## プリンストンテクノロジー、ポリコム社ビデオ会議システム向けのタッチパネルリモコンを発表

プリンストンテクノロジー株式会社(東京都千代田区)は、ポリコム社ビデオ会議システム向けのタッチパネルリモコン「VCTR-01」を発表した。(7月1日)

発売は、7月上旬の予定。



VCTR-01(プリンストンテクノロジー資料)

VCTR-01 は、「Polycom HDX シリーズ」や「Polycom VSX シリーズ」に対応し、ビデオ会議中にユーザがよく使う機能やボタンを画面上にアイコン化して、システムの操作性を簡

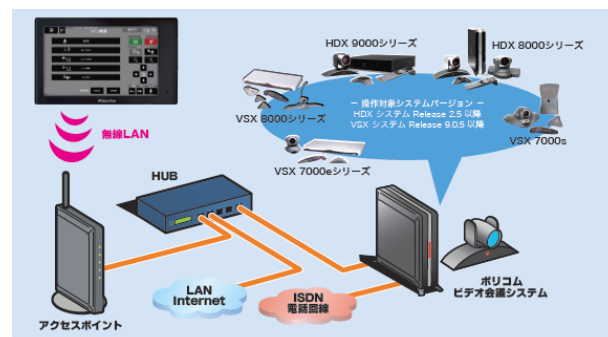
便化している点や、会議室内で手に持ったままでも操作しやすいように、本体のデザイン性と軽量化(343g)も考慮されている点に特長がある。

VCTR-01 本体は、指もしくはタッチペンで操作できる 7 インチワイド液晶タッチパネルを採用し、無線 LAN 通信機能とバッテリーを搭載。無線 LAN 通信は、市販の無線 LAN ルータで採用されている IEEE.802.11b/g に対応している。バッテリーは、利用環境にもよるが、連続最大 3 時間使用できる。手に持って操作する場合は、専用クレードルから取り外して操作するが、クレードルに置いたままでも操作は可能だ。

「VCTR-01 の開発には、ビデオ会議システムに一般的に同梱されている赤外線リモコンの操作性や使用感をより向上させる目的があった。赤外線リモコンの場合は、ひとつの機能を実行するために複数回ボタンを押下したりするなど操作が煩雑になったりすることがある。

また、リモコンの受光部の位置やモニタや蛍光灯からのノイズ干渉、さらに、リモコンの電池切れなどユーザにとって気になる点もある。VCTR-01 は、そういった点の解決を図った製品だ。加えて、赤外線リモコンと比べても、コンパクトで軽い、操作しやすいという点も特長だ。」(プリンストンテクノロジー)

VCTR-01 からビデオ会議端末のコントロールは、LAN ネットワーク経由で行われるが、システム管理者が予めネットワークの設定やコントロールする端末の IP アドレスなどの初期設定を VCTR-01 の画面上で行う。



VCTR-01 接続イメージ (プリンストンテクノロジー資料)

さて、ユーザが VCTR-01 を使う場合、まず電源を入れると、画面には、日本語と英語を選択するメニューが出てくる。そしていずれかの言語を選択（指操作あるいはタッチペン）すると、次に選択した言語でのメイン画面が表示される。

メイン画面では、電話帳、カメラプリセット、コンテンツ送信、モニタ切り替え、カメラ設定の5つの機能が表示される。そしてその横には、通話発着信やカメラコントロール、音量、ミュートなどのボタンも表示されている。さらにそれらの上には、バッテリー状況や無線電波の状況、通話中も視覚的に確認できるようになっている。

会議を行うためには、このメインメニューにある電話帳を選択する。そうすると、電話帳に登録されているユーザー一覧が表示され、その中のある特定のユーザを選び通話発信ボタンを押すと通話が開始される。

また、一方で電話帳に掲載されていない相手を呼び出す場合は、ダイヤルパッドを画面上に呼出し、相手の IP アドレスなどを入力し、通話発信ボタンを押す。

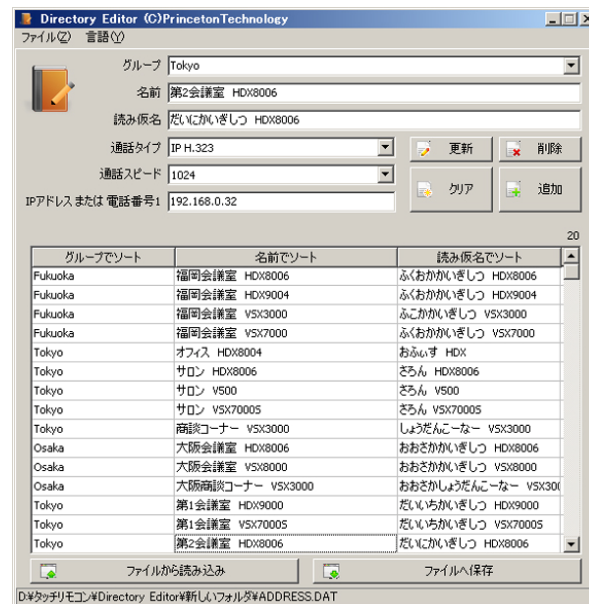
通話が始めると、VCTR-01 が画面右上に「通話中」を表示すると同時に、アドレス帳を表示していた画面から、会議中に必要な画面を自動表示する。もっとも、接続しているかどうかは、ビデオ会議用のディスプレイを見れば目視で確認できるものだが、VCTR-01 の画面でもわかるようにしている。

会議中は、カメラプリセットの切り替えやモニタの切り替え、コンテンツ送信の操作の他、自カメラもしくは相手のカメラを選択することで、カメラコントロールを行ったり、あるいは、音量を調節したり、ミュートをしたり、さらには、PiP(ピクチャーインピクチャー機能)の表示位置を変えたりすることができる。

「たとえば、赤外線リモコンだと、希望の PiP の位置まで 3 回か 4 回リモコン上のボタンを押す場合があるが、この VCTR-01 では1回で位置選択が行える。」(プリンストンテクノロジー)

アドレス帳は、300 件まで登録が可能。アドレス帳の編集は、アドレス帳編集ソフト「Directory Editor」を Windows PC (XP 以上) にインストールして使用する。このソフトを使って、

端末名、通話タイプ (IP H.323 など)、通話スピード、IP アドレスまたは電話番号などの入力、削除、修正などを行える。またグループ名や、名前、あるいは読み仮名でソートも可能だ。



#### Directory Editor(プリンストンテクノロジー資料)

このソフトで作成されたアドレス帳データファイル (Dat ファイル形式) は、microSD カードで VCTR-01 本体にコピーすることで、アドレス帳において使用することができる。

VCTR-01 対応のビデオ会議システムは、Polycom HDX 9000 シリーズ/8000 シリーズ、Polycom VSX 8000 シリーズ /7000 シリーズ (VSX 7000e および VSX 7000s) となっている。

プリンストンテクノロジーは、ポリコム社のプラチナパートナー。今までポリコム社の多地点接続サーバ「Polycom RMX シリーズ」向けの会議管理ソリューション「Meeting Organizer」(Polycom ARENA 製品)などを発売し、2004 年以降連続でポリコム社より日本におけるベストリセラーとしての受賞実績がある。Meeting Organizer は、RMX シリーズのシステム管理者の管理運営環境をより簡便にする点に特長があるが、それに対して今回発表された VCTR-01 は、会議を行うユーザの視点に立って開発された製品となる。

同様なタッチパネル式の製品は他社から販売されているが、ビデオ会議システムの操作だけでなく、会議室にあるプロジェクタやモニタ、あるいはライトなどの操作まで含まれることがあり機能が多く、価格も高価という。「VCTR-01 は、そのような高価な多機能型とは違い、ビデオ会議の操作にフォーカスした製品である。そのため、価格的にも、気軽にビデオ会議端末と一緒に購入できる価格だと思う。」(プリンストンテクノロジー)

VCTR-01 の価格は、オープン価格だが、同社によると実売予想価格は、約 10 万円という。年間 1000 台の販売を見込む。

また同社では、ビジュアルコミュニケーションソリューションの強化を行っている。ポリコム社のビデオ会議システムなどの会議室向けのソリューションだけでなく、モバイル環境でのビジュアルコミュニケーションや、監視向けのソリューションなども幅広く提供していく考えだ。

### プリンストンテクノロジー、カナダの AudioSoft 社と提携、モバイルビデオコミュニケーションシステムの国内販売を開始

プリンストンテクノロジー株式会社(東京都千代田区)は、カナダの AudioSoft Technologies 社と、国内販売について合意し、国内総代理店契約を締結した。(7 月)

プリンストンテクノロジーは、モバイルビデオコミュニケーションシステム「Frontline Communicator(フロントラインコミュニケーター)」を中心とした AudioSoft Technologies 社が提供する商品の国内販売を順次開始する。

今回の発表に合わせて国内の取扱を開始する AudioSoft Technologies 社の Frontline Communicator は、米ポリコム社の Polycom ARENA Partner Program 認定を取得したシステム。

Frontline Communicator は、Wi-Fi などの無線通信に対応し、外部からでも映像と音声でのコミュニケーションを可能にするモバイルビジュアルコミュニケーションシステム。

ヘッドセットやカメラ、そしてディスプレイを内蔵した、バッ

テリー駆動のポータブル通信端末が、Wi-Fi などで IP ネットワークに接続し、専用の通信用ソフトウェアをインストールした PC と、映像と音声、データ共有によるコミュニケーションを行うことができる。

工事や建築現場、河川などでの作業、または、工場の生産ライン、施設内のメンテナンス作業、あるいは、教育現場などでの活用を想定した商品という。

「従来の据え置きビデオ会議システムでは難しかった、有線 LAN や電源が取れないところでのビジュアルコミュニケーションの展開を可能にするのがこの Frontline Communicator の特長だ。専用のゲートウェイ装置を用いて、H.323 のビデオ会議との接続もできる。」(プリンストンテクノロジー)

持ち運びができる「Frontline Communicator 本体通信モジュール」は、腰ベルトに装着できる軽量の端末で、ディスプレイや Wi-Fi などの通信や PCMCIA カード用のスロットを搭載し、小型カメラやマイク、レーザーポインタを内蔵したヘッドセットと、ハンドヘルドカメラを組み合わせ使用。レーザーポインタは、PC 側にカメラの焦点位置を示すためのもの。



本体通信モジュール (プリンストンテクノロジー資料)

ハンドヘルドカメラは、単焦点・小型タイプと 40 倍ズーム対応 VGA 画質の 2 タイプのカメラを選択可能。LED ライトを搭載し、暗闇でもカメラによる接写をライトで明るくすることができる。

映像や音声は、ヘッドセットに装着されたカメラやマイク、またハンドヘルドカメラを通してキャプチャーされ、ネットワークを経由して、PC 側へ送信される。またハンドヘルドカメラを使ったスナップショット写真も送信できる。

一方で、PC 側では、ポータブル端末から送られてきた映像や音声、スナップショットを、専用のソフトウェア「Frontline PC」で受信することができるが、専用ソフトウェアから本体通信モジュールに対しては、音声通話とスナップショット写真を利用したデータ送信が行える。

本体通信モジュール側では、Frontline PC からの音声が聞こえ、データについては、本体通信モジュールに内蔵されたディスプレイに表示される仕組みになっている。



Frontline Central、表示されている映像は、本体通信モジュールに接続されたカメラからの映像（プリンストンテクノロジー資料）

たとえば、本体通信モジュール側でキャプチャーした写真を一端 PC 側で受信し、その受信された写真に指示を画面上で書き込み、それを再度、本体通信モジュール側へ送信する。そうすることで、その指示が書かれた写真をお互いに見ながら音声通話することで、音声だけでは伝えにくい指示の伝達がしやすくなる。

「双方向通話としては音声のみで、映像コミュニケーション

ン片方向ではあるが、現場の作業員と現場指揮者などの担当者間でのコミュニケーションとしては十分な機能を提供していると思う。フィールドでの作業が一層効率化できるのではないかと期待している。」（プリンストンテクノロジー）

Frontline PC は、本体通信モジュール側と PC 側の 1 対 1 の通話に使用するためのソフトウェアで、Frontline Communicator の製品キットに標準添付される。また、複数の通信モジュールと N 対 1 での通話が行える「Frontline Central」が別途有償にて提供される。

また、1 人の現場作業員が複数の現場指揮者と通話したい場合など 1 対 N での通信ニーズに対しては、「Frontline Gateway」を、さらに、Frontline Gateway に、H.323 ビデオ会議端末を加える場合は、「Frontline Gateway H.323」を使用する。それぞれ 1U サーバタイプ。

Frontline Communicator 製品キットは、4 種類ある。通信モジュール、ヘッドセットカメラ、AC 電源アダプタ、バッテリーはいずれも同じだが、ハンドヘルドカメラ（単焦点か 40 倍ズームタイプ）や、バッテリーチャージャー・リチウムイオンバッテリーによってキットの内容は変わる。価格は、いずれもオープンプライスとなっている。上記キットと組み合わせるオプションやデバイスなども提供する予定。

## 製品・サービス動向-海外

### Vidyo 社、タッチパネル型ビデオ会議端末の提供開始

米 Vidyo 社（日本支社 Vidyo Japan、東京都港区）は、タッチパネルで操作できる「VidyoDesktop Executive（ビデオデスクトップ・エグゼクティブ）」を発表した。（5 月 26 日）

VidyoDesktop Executive は、ハイエンドなビデオ会議専用端末の「VidyoRoom シリーズ」、Windows や Mac 上で動作するパーソナルコンピュータ向けの「VidyoDesktop アプリケーション」といった Vidyo ラインナップを補完する位置づけの製品。VidyoDesktop 2.0 アプリケーションが動作す

るオールインワンタイプのタッチパネル型製品で、1080p フル HD 画質に対応している。

専用のハードウェアを使用した専用システムではなく、汎用のタッチパネル型コンピュータ(x86 プラットフォーム)をカスタマイズしたものであるため、コストパフォーマンスに優れた製品であるという。

## Compunetix 社、H.323 対応のソフトウェアクライアントを発表

米 Compunetix 社は、音声、ビデオ、共有機能を統合したソフトウェアベースのアプリケーション「STix」を発表した。(6月上旬)

STix は、デスクトップ PC と標準的な Web カメラがあれば、ポイントツーポイントのビジュアルコミュニケーションが行える。通信プロトコルは、H.323 に対応。また、映像は、H.261 と H.263 符号化方式に対応。解像度は、CIF もしくは、352x288 と同等レベルの解像度。ビットレートは、128kbps から 768kbps まで。音声は、G.711、G.722 に対応。

機能としては、アプリケーション・Web ページ共有、ホワイトボード、テキストチャット、イメージビューア、コンタクトリスト、ステータスバー、コール履歴などの機能を搭載する。また多言語にも対応可能。

STix は、サーバに依存したソフトウェアクライアントではないため、標準的な環境であれば STix をシームレスに統合できるという。

## ビジネス動向-海外

### Compunetix 社、テレビ会議事業のグローバル & セールスの強化

米 Compunetix 社は、同社のテレビ会議システム事業の促進のためグローバルセールス&マーケティングの強化を行う。その責任者に、前アエスラ社でバイスプレジデント兼セールスディレクタの Mario Rimini 氏が就任した。(6月4日)

テレビ会議市場の 85%は、エンタープライズセグメントが占

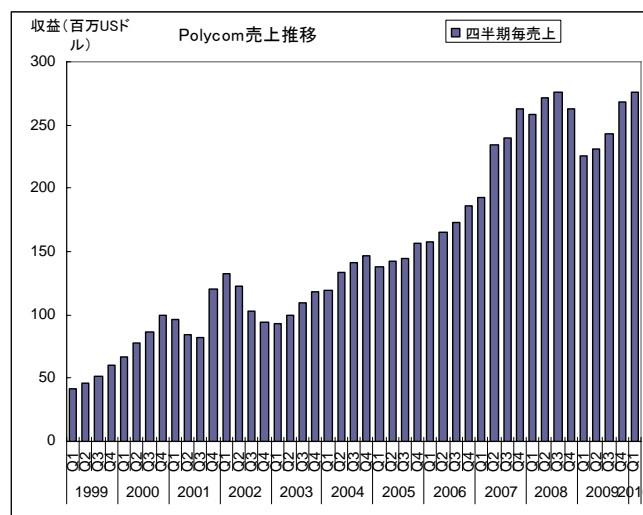
めるが、Compunetix 社としては、そのセグメントに実績を持つ人材を探していた。同社は、アエスラ社とも長い“付き合い”があるという。そういった中で、15 年以上のテレビ会議業界での経験を持つ Mario Rimini 氏を採用することにした。

同氏は、最近発売した新製品である、多地点接続システム「EVERGREEN ファミリー」とデスクトップビデオ製品「STix」の販売展開の責任者となる。

## 業績発表-海外

2010 年第 1 四半期(1月-3月期) NASDAQ 上場企業

### ポリコム (米国)



米ポリコム社の2010年第1四半期の売上は、2億7600万ドルで過去最高の四半期売上を達成した。前四半期より3%増、前年同期比で23%増を記録した。49四半期連続でキャッシュフローはポジティブ。現金残高は、4億7000万ドルで無借金経営を続けている。

今四半期の売上構成は以下の通り。ビデオ会議システム販売 53%、ネットワークシステム 16%、音声会議システム 31%。ビデオ会議システム端末は、24,210 台出荷した。過去最高の出荷台数という。

地域別売上構成については、北米は、50%、EMEA 地域は、25%、アジア太平洋は、21%。ラテンアメリカ(CALA)は、

4%。アジア太平洋は、前四半期 7%増。前年同期比で 39%増を記録した。

グローバル全体の社員数は、第1四半期に 153 名増加し、2,846 名(3 月末現在)となった。Go-to-market 戦略、R&D、サポートなどで人員増を行った。

## セミナー・展示会情報

### < 国内 >

#### 会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』 定期開催

日程:7月21日(水)、28日(水)

※全ての日程で14:00～15:00、16:00～17:00の2回開催

会場:NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:NEC

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

#### ヤマハ株式会社様共催セミナー

#### 『音のスペシャリスト』による音の不快感払拭の方法とは！?』

日時:7月22日(火)

会場:ブイキューブ 本社(東京都目黒区)

主催:株式会社ブイキューブ

共催:ヤマハ株式会社

詳細・申込:

[http://www.vcube.co.jp/secret-seminar/0630\\_1810.html](http://www.vcube.co.jp/secret-seminar/0630_1810.html)

#### 実践！次世代型ビデオ会議システム有効活用セミナー

日時:(東京、大阪同時開催)

ーエンドユーザー様向け:

7月23日(金)13:30-15:00(受付:13:15～)

会場:VTVジャパン 東京本社、大阪オフィス

主催:VTVジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1006vidyo/index.html>

\*Vidyoソリューションの紹介およびデモ。

#### RADVISION 社新製品体感セミナー

日時:7月23日(金)、30日(金)

16:00-17:30(受付:15:45～)

会場:VTV ジャパン 東京本社、大阪オフィス

主催:VTV ジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1006xt1000/index.html>

\*ラドビジョン製品 SCOPIA XT1000 シリーズや SCOPIA VC240 などの紹介とデモ。

#### ビデオ会議システムの新規導入、リプレースをご検討中のお客様必見！高精細ビデオ会議システム導入セミナー

日時:7月23日(金)15:00～17:00(受付:14:30)

会場:日立情報システムズ 本社2F

Cloud & Virtualization Clinic センター(CVC)

主催:株式会社日立情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.hitachijoho.com/seminar/2010/07/0723.html>

#### Web 会議/Web コラボレーション SaaSBoard 無料セミナー

『クラウドコンピューティング時代における劇的経費削減の方法』

日時:7月23日(金)13:30～17:00(13:00 開場)

場所:渋谷区商工会館6F クラブ室

主催:ニューロネット株式会社

共催:ワクコンサルティング株式会社、ライド株式会社

詳細・申込:

<http://www.neuronet.co.jp/seminar/mailform100723.html>

#### 劇的変化を遂げた「次世代会議ソリューション」セミナー

日程:2010年7月23日(金)13:30～17:00

会場:ネット・カンファレンス 東京・大阪・名古屋

主催:ネット・カンファレンス株式会社

共催:日本電気株式会社、コミットメントテクノロジー株式会社

詳細・申込:[http://www.net-conference.jp/seminar\\_cm\\_2010\\_7/](http://www.net-conference.jp/seminar_cm_2010_7/)

#### 企業競争力強化セミナー- 乗り遅れるなIP化 -

『コミュニケーションコストの削減、今と未来』

日程:2010年7月27日(火)14:00～16:50(受付:13:30～)

会場:名古屋:ネット・カンファレンス セミナー会場

東京:NECブロードバンドソリューションセンター

大阪:NECブロードバンドソリューションセンター関西

主催:日本電気株式会社

共催:ネット・カンファレンス株式会社

詳細・申込:[http://www.net-conference.jp/seminar\\_nec\\_2010\\_7/](http://www.net-conference.jp/seminar_nec_2010_7/)

#### ビデオ会議システム “徹底的使いこなし” セミナー

～ユーザだから言えること、管理者だから言えること！～

日時:8月5日(木)15:00～17:30(受付 14:30～)

会場:パナソニック電工インフォメーションシステムズ

東京オフィス セミナールーム

主催:パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

共催:日本タンバーク株式会社

詳細・申込:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/111>

## 編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

次回もよろしくお願い致します。

(橋本啓介)